

2. 半導体関連企業誘致強化事業 **拡**

(補正額)1,220千円 既計上額10,000千円
(所管課)企業立地推進課

○半導体関連企業の立地促進のための誘致活動に要する経費

現状・課題

- 本年9月1日以降、台湾のスターラックス航空及びチャイナエアラインが熊本・台北間の定期便就航を開始し、台湾との観光・経済・文化的な交流が活発になっている。
- また、「半導体関連産業の集積に向けた産業用地整備事業」については、現在、本市と各事業者等が連携し企業誘致を進めており、その中で、台湾企業の熊本への立地に係る関心も把握しているところ。
- これらの好機を逃すことなく、既存又は計画中的誘致活動に加え、台湾企業に対する市長トップセールスや、関係機関との具体的な連携協議等を行い、国内外の企業の立地を確実なものとしていく必要がある。

事業概要

- 事業費:1,220千円
- 事業内容
 - ・台湾を訪問し、企業に対する市長トップセールスや関係機関との協議を実施する。
 - ・「積算内訳」
 - ・視察旅費:700千円 ・通訳経費等:520千円
- ・訪問概要や目的

訪問案		概要・目的
1	熊本への立地に 関心がある企業	産業用地整備事業の事業者及びその連携金融機関と実施する誘致活動、半導体関連の展示会・商談会等を通じて把握した企業に対し、市長トップセールスを行い、本市への立地を強く促していく。
2	国内金融機関の 台湾事務所	次の事項に係る連携を協議し、本市の事業・取組の実効性を高めていく。 ・熊本への立地に関心がある台湾企業に対する誘致 ・熊本と台湾相互の企業、起業家によるオープンイノベーション支援 ・台湾企業のインセンティブツアー誘致

※ 詳細については、各訪問先の意向、都合等を踏まえ、今後、調整していく。

〈参考〉既存又は計画中的誘致活動等

- ・「セミコン台湾2023」の出席
- ・国外金融機関が開催するセミナーでのプロモーション
- ・企業誘致パンフレット及びホームページのリニューアルと多言語対応
- ・首都圏の金融機関との連携による誘致活動の展開に向けた協議